

# 実施報告書

平成 25 年 12 月 24 日

神奈川県知事 黒 岩 祐 治 殿

〒231-0001 横浜市中区新港 2-2-1 横浜ワールドポーターズ 6F NPO スクエア内  
特定非営利活動法人かながわ環境カウンセラー協議会  
理事長 木村 信幸

環境・エネルギー学校派遣事業について、次のとおり実施したので報告します。

委 託 業 務 名	環境・エネルギー学校派遣事業		
実 施 日	平成 25 年 12 月 13 日 (金)、19 日 (木)		
実 施 学 校 名	川崎市立麻生小学校 (川崎市麻生区上麻生 3-24-1)		
授 業 テ ー マ	木に触って、森、木の働きを知ろう		
対 象 学 年	5 年生	受講児童 (生徒) 数	152 名
授業実施者人数・氏名	10 名 岡本正義、照沼俊夫、高橋信、大野昌美、鈴木竹二、田中真次、品川高儀、木村信幸、嶋田和夫、坂崎洋雄		
<b>実施した授業の概要</b> 各クラス 38 名を 6 班に分けて、各班に一人ずつ環境カウンセラーが付いて、児童をサポートして 2 コマ (90 分) × 4 クラスの授業を実施した。 ①はじめに：地球温暖化シミュレーションを見て、地球の将来を考える ②「近くの森に出かけよう！」パンフレットを読んで森林の機能を学ぶ 今回は、水源林及び地球温暖化防止 (CO <sub>2</sub> 吸収) の働きを実験で体験する ③森・木が水を貯え、きれいにしているのを模型実験で体験する 木がある場合と無い場合で、土に水を振りかけるとどうなるか？実験する 木があると水はきれいになり、水を貯えることを確かめた ④森・木が空気をきれいにしているのを体験する 学校近くの公園に行き、木の太さを測り、聴診器で木の音を聴く ⑤CO <sub>2</sub> 吸収量を計算して、公園マップに吸収量をカラーマークで視覚化する クラス全員 38 本の木が吸収する CO <sub>2</sub> 量は、125 人が呼気で吐き出す CO <sub>2</sub> 量、並びに自動車 20 台分の排出 CO <sub>2</sub> 量に対応することを確認した ⑥聴診器で木の音、ゴー、シュー、ゴトンゴトンなどを聴き、各児童が感じたことを発表した。木が生きていることを実感したとの感想が多かった ⑦まとめと振り返り：今回の学習で児童が感じたこと、これからやろうとすることを発表した。木の働きを理解し、実感し、地球温暖化防止のために、木の大切さに気付き、木を植えるなどの行動指針が児童から出てきた。			

授業のスナップ写真を次ページに掲載します。



木の太さを巻き尺で測りました。  
木の音を聴診器で聴いています。ゴー、シュー、ゴトンゴトンなどいろいろな音が聴こえました。木が生きていることを実感しました。



1 班に一人の環境カウンセラーが付いて、きめ細かく指導しました。  
公園で調べたことを一緒にまとめています。  
木の太さから二酸化炭素の吸収量を計算しています。



今日、学習したことを発表しています。木が音をしていることにビックリしました。木が二酸化炭素を吸収して地球温暖化防止に役立つことを知りました。木を大事にしたい。木を植えたいなどの積極的な意見が出ました。